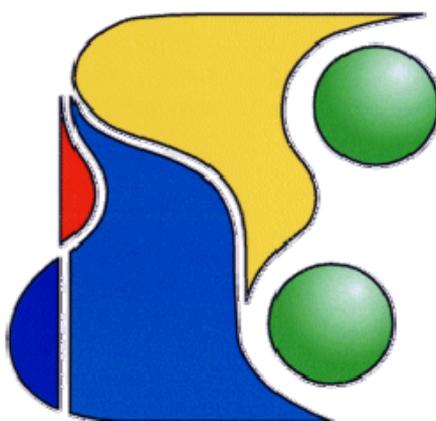


SPACC
先端錯体工学研究会

The Society of Pure and Applied Coordination Chemistry

News Letter
(April, 2016)



SPACC ニュースレター

(2016年4月号)

内容

- ◎ 会長就任のご挨拶
西岡孝訓（大阪市立大学大学院）
- ◎ 第94日本化学会春季年会特別企画を終えて
松村有里子（東京医療保健大学大学院）
- ◎ 事務局からの連絡

◎ 会長就任のご挨拶

このたび、山口素夫先生の後を引き継ぎ、先端錯体工学研究会会長を務めさせていただきます大阪市立大学大学院理学研究科の西岡です。まず、長年会長としてご尽力いただきました山口先生に心より感謝申し上げます。

本研究会の活動分野は基礎研究を含め広汎な応用研究に広がる数多くの境界分野を網羅した学際領域です。異なる分野で活躍しておられる会員の皆様の研究交流をより一層進めるため、国際シンポジウムおよびミニシンポジウムをより充実したものにしていきたいと考えております。本研究会の国際シンポジウムは、海外と国内におきまして、それぞれ隔年で開催しており、2015年ですでに22回を数えております。さらなる研究会の発展のため、皆様のご参加および開催へのご協力をお願いいたします。また、ミニシンポジウムも各地で開催してきました。さらに多くのミニシンポジウムを開催し、会員の皆様の研究交流の機会を増やしていきたいと考えております。

山口前会長のもと、副会長と事務局を務めさせていただいた経験を活かし、微力ではございますが、会員の皆様のご要望にお応えし、研究会の発展のために努力していく所存でございますので、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

大阪市立大学大学院理学研究科
物質分子系専攻
西岡 孝訓

第96回日本化学会春季年会特別企画

「次世代の医療技術／獣医療に向けた医工農連携」を企画して

東京医療保健大学大学院 松村有里子

e-mail: y-matsumura@thcu.ac.jp

第96回日本化学会 春季年会在同志社大学京田辺キャンパスで開催されるにあたり、2016年3月24日9時半より株式会社島津製作所 原田日出男氏とともに特別企画「次世代の医療技術／獣医療に向けた医工農連携」を開催いたしました。多くの大学の学位授与式と日程が重なっていたこともあり、どれほどの人が集まるのか多少不安ではありましたが、常に80名程度の聴講者が会場におり盛況のうちに開催できたのではないかと考えております。前半の二人の先生から経済産業省及び獣医師の立場から医工農が連携することにより創出される市場やペット産業における医工農連携の意義をわかりやすくご説明いただき、中盤の二人の先生からは質量分析装置を用いた最新の研究のご紹介をいただき、最後の二人の先生からはより製薬業界と医学会における実情についてご説明いただきました。本企画は、先端錯体工学研究会員のみならず、化学会員や企業の方々にとりまして非常に有益な講演だったのではないかと思います。今後の皆様方のご研究の一助となりますと幸いに存じます。最後になりましたが、本企画に携わっていただいた関連の先生・講師の先生に厚く御礼申し上げます。

下記に今回ご講演いただいた先生方を紹介させていただきます。

- ・化学がつなぐ日本の未来

茂木正 (写真右から3番目)

(経済産業省製造産業局 化学課)

- ・人と動物、ともに健やかに生きる

伊藤典彦 (写真右から2番目)

(鳥取大学農学部附属 動物医療センター)

- ・LC/MSを用いた血中バイオマーカー探索

松村有里子 (写真左端)

(東京工業大学大学院 生命理工学研究科)

- ・トリプル四重極型LCMSによる生理活性脂質の網羅的分析法の開発と応用

山田真希 (写真右端)

((株)島津製作所分析計測事業部 グローバルアプリケーション開発センター)

- ・これからの製薬企業が必要とする分析技術

浅川直樹 (写真左から3番目)

((株)島津製作所分析計測事業部 技術アドバイザー (元エーザイ株式会社))

- ・GC/MSを用いた血中代謝物プロファイリングによる早期大腸癌スクリーニング

吉田優 (写真左から2番目)

(神戸大学大学院 医学研究科)



◎ 事務局からの連絡

- 受賞規定の改定により、「受賞対象者を会員限定とし、学生会員にあつては毎年登録し、会員番号の割り振りを行うこととする」こととなりました。学生会員は1研究室20名まで一括1,000円となっておりますので、学生会員のご登録のほどよろしくお願いいたします。詳細は <http://spacc.gr.jp/page2.html> をご参照ください。
- The 23rd International SPACC Symposium (SPACC23)が2016年11月に赤司治夫先生のお世話で岡山理科大学にて開催されます。